

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2014
平成26年

7.15

涼やかな木陰で
育む友情!

目次

「しみんの広場」 2

博物館・資料館めぐり
伊良湖岬観光協議会
今月の花「レイコのコレいね」

地域の話

市民活動を応援するページ

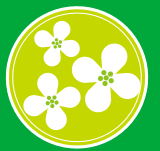
スクールレポート
学校生活の一コマを紹介 6

たはらしティニュース 7

連載コーナー 8

お知らせ 10

歴史探訪クラブ 12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターだより……………2ページ
- 伊良湖岬観光協議会・レイノのレイいね……………3ページ
- 地域の話(堀切校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

広報サポーターだより

博物館・資料館めぐり

田原市には多くの文化財があり、博物館・資料館などで保管・展示して

ますが、なかなか見る機会が少ない方もいるのではないのでしょうか。

多くの方に興味を持ってもらいたい田原の歴史を残していけたらと思います、博物館・資料館取材してきましたので、ご紹介します。



広報サポーター
浪崎季代美
(高松校区)

田原市広報サポーターの部屋

- 田原市ホームページ
<http://www.city.tahara.aichi.jp/>
- ブログアドレス
<http://kohotahara.dosugoi.net/>
- ツイッターアドレス
<http://twitter.com/#!/KohoTahara>

吉胡貝塚資料館 (シエルマよじ)

田原市には貝塚が多くあり、そこから発掘した物から多くの歴史を読み解くことができます。ごみ捨て場だと思っていた貝塚はこの世で役割を終えたあらゆるものを集める神聖な場所でした。人間までも貝塚に葬られるゆえんです。貝と一緒に埋めたことによりカルシウムが豊富で人骨の保存状態が



●吉胡貝塚資料館の外観



●縄文人度チェック

よく、昔の人の体格や健康状態わかります。ちなみに、貝塚から見つかった人骨出土数は、全国1位だそうです。

なみちゃんおすすめポイント!

シエルマよじには、体験学習メニューが豊富にあります。

自分の顔の縄文人の度合いを測ってみたり、特別体験講座では、黒曜石で魚を切ったり、縄文土器を作ったり、さまざまな体験ができます。

渥美郷土資料館・民俗資料館

郷土資料館や民俗資料館には、庶民の暮らしを中心とした歴史・民俗・生活工芸資料など多くが展示されています。昭和初期から使われていた黒電話や蓄音機など、お宝がいっぱいです。



●民俗資料館の外観



●民俗資料館展示品

なみちゃんおすすめポイント!

民俗資料館は、中部小学校の隣にあり、今年度は、金・土・日曜、祝日(博物館開館時)に開館しています。お年寄りの方を誘って、話を聞きながら、皆さんでタイムスリップしてみたいかがでしょうか。

田原市博物館

博物館は、田原城二ノ丸跡に建設さ

れ、お城を思わせる美しい建物です。常設展と特別・企画展の部屋があり、常設展は、渡辺崋山についていつでも知ることができます。企画展は、学芸員おすすめの企画を随時行っています。

なみちゃんおすすめポイント!

夏の企画展「東三河のジオパーク」と題して、渥美半島の自然遺産・歴史文化遺産が紹介されます。小学生の自由研究などにきつと役立ちますよ!



●博物館の外観



キャッチコピーとロゴマークを募集

投稿 伊良湖岬観光協議会

伊良湖岬で恋が生まれる！

伊 良湖地区の活性化を図るため、地域の事業者などが参加し、伊良湖岬観光協議会「岬プロジェクト」が発

足しました。

取り組みの第一弾として、伊良湖灯台や日出の石門など美しい景色が広がる伊良湖岬ならではの、恋人の聖地や恋路ヶ浜など恋に関連したキャッチコピーとロゴマークを募集します。

◆募集要項

●募集内容 恋路ヶ浜や恋人の聖地など恋に関連した伊良湖岬をPRするキャッチコピーとロゴマーク

●応募作品 作品数に制限はありませんが、応募者自身の未発表作品に限ります。

●締め切り 9月1日(月)

必着

●応募方法

品に作品の説明・名前・住所・電話番号・年齢を添



●恋人の聖地

えて郵送またはEメールにて(3MB以内) ※様式などは問いません。

【送付先】〒441-3623 田原市伊良湖町宮下3000-43 (キャッチコピーまたはロゴマーク募集係あて)

✉tojawase@tahara-yado.org

●賞金 採用作品にキャッチコピー1万円・ロゴマーク2万円進呈

●結果発表 9月下旬に渥美商工会ホームページ (<http://www.atsumi.or.jp>) などで発表。採用者には直接通知をします。

●その他 採用された作品に関する著作権およびデザイン使用料などの一切の権利は、伊良湖岬観光協議会に帰属します。採用作品はその一部を変更または補作する場合があります。応募作品は返却しません。

●問い合わせ 伊良湖岬観光協議会 (高橋)

☎090-9180-5376

今月の花

レイトのコレいいね

農政課 ☎23局3517

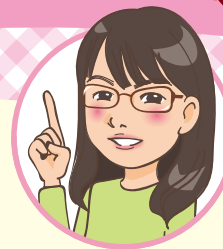
●JA愛知みなみ鉢物部会が「アジサイ祭り」をPR



5月31日、6月1日にサンテパルクたはらで行われた「アジサイ祭り」のPRのため、JA愛知みなみ鉢物部会の代表、副代表が市長を訪問しました。アジサイ祭りは今年で6回目。生産者が自らアジサイをはじめとした鉢花の販売を行いました。

代表の渡会浩さんは「最近では花の名前も知らない人が多いので、まずは花の名前を知ってもらいたい」と話されていました。

JA愛知みなみ鉢物部会は今年度から、三河田原駅舎内の田原市交流ひろばにおける鉢花の展示にご協力をいただいています。展示を行うことで、「花の名前を知ってもらいたい」という生産者の想い多くのの人に伝わればいいなと思いました。



7月の 渥美半島の花と鉢花



ひまわり
(花 / 出荷時期:5月~9月)

花ことば
あなただけを見つめる

夏を代表する花です。田原市では約50万本出荷されています。



ブーゲンビレア
(鉢花 / 出荷時期:4月~7月)

花ことば
情熱

県内2位の生産量で、約9万鉢出荷されています。



▲花育教室で地元の花にふれる機会をつくっています



▲交通安全花束運動の様子。ドライバーに交通安全を呼びかけます

地域の話題

堀切校区

花で地域を活性化

「花」を中心とした地域活性化を推進している堀切校区コミュニティ協議会からさまざまな取り組みについてお便りが届きました。

地域発!



▲沿道花壇の整備

「日」 本の花の生産地から、日本一花を贈るまちに」というスロー

ガンで「花」に関する取り組みを行っている田原市。堀切校区では、今も昔も「花」を中心とした地域づくりを積極的にを行っています。

交通安全への思いを花に託して

堀切校区では毎年、堀切小学校が中心となつて交通安全花束運動を実施しています。校区には花き生産者が多いことから、地域と学校との連携でこの活動が始まりました。活動の歴史は古く、昭和48年から毎年、5月の大型連休を中心に継続して実施しています。

今年度も4月26日に、国道42号沿いで堀切小6年生20名が、スプレーギクの花束240束を観光などで訪れた

ドライバーに手渡しました。

花は心を癒す効果があります。花を愛でる心で運転してもらい、少しでも悲惨な交通事故が無くなることを願っています。

地域で沿道花壇なども整備

私たちは、地域の環境づくりにも力を入れています。

施設への花の植栽はもちろんのこと、沿道花壇も整備し、花のある地域づくりを目指しています。また、市民館には、花き生産者など地域の方々が栽培した季節の花々が常に飾られています。

さらに、堀切地区には県指定文化財ハマボウの野生地もあります。これを保護するため、下草刈などを実施し、地域一丸となつて保全しています。

花育教室で感性を豊かに

昨年度から、田原市・JA愛知みなみ農畜産物消費宣伝事業推進協議会の応援を受けて、堀切小全児童を対象に花育教室が行われています。自由にフラワーアレンジをすることで、集中力や想像力を高め、感性豊かな子どもを育てることを目的としています。花に対する知識や関心を高めると同時に、自然を思いやる心や、季節感を育成します。

また、最近では校区主催の地元講師による、「市民館 お花教室」も始まっています。小学生を対象に昨年度は延べ190名が参加しました。

これらの活動が一過性のものにならないよう、今後も地元の花材を利用し、地域の特色を生かした活動を、地域住民と共に積極的に実施していきます。





市民活動を応援するページ



イベント報告

地球に感謝! 「アースデイたはら」

“みんなちがってみんないい!! それでいいのだ”

●平成26年度市民活動まちづくり事業補助金採択事業

白 谷海浜公園で5月31日(土)、6月1日(日)の2日間、『アースデイたはら2014』が開催されました。

日差しが照りつけ、5月としては気温が高めでしたが、梅雨入り前のさわやかな風が吹く気持ちのよい気候の中、参加団体のグループがそれぞれの形で地球を思う活動をしていました。

「多様性を認め合い持続可能な地域コミュニティを探ろう」という目的のもと、「海ステージ」「月ステージ」に分かれてのパフォーマンス、ワークショップ、チャリティー、アースマーケット、ファッションショー、種の交換会などが行われました。

【アースデイ】

地球環境について考える日として提案された記念日。2009年の国連総会で、4月22日を「国際母なる地球デー」として採択。現在は、環境のことを考え、地球への関心を表現するイベントとして全世界で開催されている。



▲イベントの様子



▲主催者が地元漁師と制作した「流木のオブジェ」

市民提案

市の事業を受託してみませんか?

自由なテーマで提案してみよう!

市民提案型委託制度(自由テーマ型)は、市が取り組むべき事業について市民活動団体から提案していただき、団体と市とが委託契約を結んで事業実施するものです。今回は、市民活動団体が自由な発想で考える事業を募集します。

●募集期間 9月12日(金)午後5時まで ※必着

●対象事業 市の施策が推進される事業で、平成28年2月末までに完了する事業

例えば…ツイッターやフェイスブックの活用講座の企画・開催、農家の皆さんでの農道整備活動など
この他にも自由にご提案ください。

●対象団体 主に市内で公益活動を行う5名以上で構成された団体

●応募方法 市民協働課で配布する提案用紙に必要事項を記入して直接または郵送にて提出。
提案用紙は市ホームページからもダウンロード可(<http://www.city.tahara.aichi.jp/>)

●審査方法 事業担当課へのプレゼンテーションによる審査

●スケジュール

	H26.9	H26.10	~H27.3	H27.4~	~H28.2	H28.3
提案募集						
	審査・協議	予算要求	担当課・関係課で 予算調整	予算確定	契約締結	各団体で事業実施
					事業完了	確認・支払

●応募・お問い合わせ 市民協働課 ☎23局3504 ☎23局0180 ✉kyoudou@city.tahara.aichi.jp



田原市民活動支援センター

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

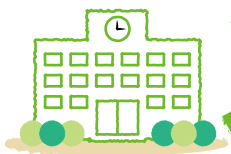
☎22局1111(内線812) ※開設時間のみ

☎23局0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp

メールマガジン配信中です!

センターから市民活動に関する新鮮な情報を随時、お届けします。配信ご希望の方は、メール本文に「メール配信希望」とご記入の上、左記センターアドレスへメール送信ください。





スクールレポート

SCHOOL REPORT 70

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「春のたてわり班遠足」と中学校での「泉スポーツウィーク」をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

六連小学校「春のたてわり班遠足」

全校で仲良く「砂の造形」

4月24日、春の恒例行事「春のたてわり班遠足」が行われました。うららかな春の日差しの下、海岸で「砂の造形」を行い、班ごとに6つの大きな作品制作に取り組みました。6年生を中心に、たてわり班で仲良く作る光景は、六連小学校の伝統となっています。

今年度は、その光景に誘われるかのように、上空からパラグライダーが近づいてきました。子どもたちも、思わず大きく手を振って応えました。完成した作品を前に記念撮影もし、楽しい行事となりました。

後日、うれしいサプライズがありました。パラグライダーに乗っていた方から、空中撮影した写真が届いたのです。聞けば、あまりに楽しそうな光景に思わずカメラを向けてしまったとのこと。このことは、NHKの朝のラジオ番組にも投稿され、放送されました。子どもたちにも、空のカメラマンにも、うれしい一日でした。



●パラグライダーから撮影した「砂の造形」



●「砂の造形」と記念撮影

泉中学校「泉スポーツウィーク」

ニュースポーツに挑戦！

泉中学校では、全校生徒103名が体育の授業や部活動などでは体験できない、さまざまなスポーツを体験し、よりスポーツに親しもうとする『泉スポーツウィーク』(通称ISW)を実施しています。

スポーツ推進委員の方を講師に招き、「タスポニー」「キンボールスポーツ」「グラウンドゴルフ」「タグラグビー」などのニュースポーツを楽しむ会で、3日間に渡って行います。

●キンボールスポーツを体験する生徒たち



各班とも3年生が中心となり、チームを決めたり作戦を考えたりして、3日間とも、あっという間に時間が過ぎました。どのスポーツも初めて体験する生徒がほとんどで、一生懸命競技する中にも、珍プレーあり好プレーあり。大変盛り上がり、大好評でした。

生徒たちが楽しみにしている『泉スポーツウィーク』。本年度も昨年度以上の盛り上がりが見られます。



▲田原市地域コミュニティ連合会の主催で行われました
【玉入れ】優勝:高松、準優勝:大草、3位:六連・清田
【フライングディスクゴルフ】優勝:高松、準優勝:泉、3位:田原中部・和地



▲楽しそうに種まきを行う和地小学校の児童たち

6月14日(土)
さわやかな汗で
深まる地域の絆きずな

校区交流スポーツ大会が渥美運動公園屋内運動場で行われ、市内20校区から約430名が参加しました。校区間・校区内の交流・連携意識の向上などが目的のこの大会。玉入れなどの競技が校区対抗で行われ、手に汗握る勝負の展開に、会場は大いに盛り上がりました。

6月17日(火)
花でいっぱい
地域にしたい

ひまわりとコスモスの種まきを和地小4〜6年生児童36名が、国道42号沿いの畑(和地町)で行いました。常に花のある地域を目指そうと行われたこの行事は、和地校区の主催によるものです。児童らは校区の役員に教わりながら、列になって種をまきました。

頑張れ! 田原っ子

全国大会などに出場を決めた皆さんをご紹介します。皆さんの活躍に期待します!

◆全国小学生ABCバドミントン大会
(熊本県八代市「8/15〜17」)
◎T-1 Jump Jr.シニア
大谷健人くん(童浦小2年)



◆全日本小学生ソフトテニス選手権大会
(大分県大分市「7/31〜8/3」)
【写真右から1番目】
根木凌汰くん(大草小6年)
【写真右から3番目】
川森嶺那さん(童浦小6年)
【写真右から4番目】
木戸雪乃さん(童浦小6年)
■東海小学生ソフトテニス選手権大会(7/12・13)
【写真右から2番目】
石灘そよ花さん(童浦小6年)

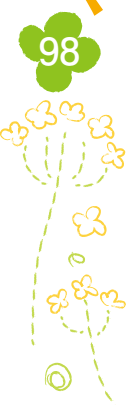


◆全日本卓球選手権大会
(兵庫県神戸市「7/25〜27」)
◎アシユラ
小川美咲さん(福江小3年)



広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想



住宅用太陽光発電普及促進に取り組んでいます

田原市は、市民などのクリーンエネルギー利用を積極的に支援し、環境と共生する豊かで持続する地域たはらエコ・ガーデンシティを実現するため、太陽光発電システムの設置などに対し、補助を行っています。

田原市の日射量は国内最高水準で、高効率の発電が期待できるエネルギー資源に恵まれており、市内の持家世帯の約9・7%が太陽光発電システムを設置しています。全国平均は約2・5%（出典：家庭用エネルギーハンドブック）となっており、田原市は全国平均と比較すると高い設置率です。今後も、田原市では住宅用太陽光発電の普及・導入促進を図ってまいります。



●住宅用太陽光発電システム設置補助金

●補助対象者

次の①または②に該当する方。

①自ら居住し、または居住予定である市内の住宅に太陽光発電システムを設置しようとする方。

②自ら居住するため、建売住宅供給者などから市内の太陽光発電システム付き建売住宅を購入しようとする方。



●補助金額

1キロワットあたり5万円（ただし、補助対象経費の3分の1以内で、20万円を限度とする）

●補助金申請の手続き方法

補助金が交付されるまでには、工事着工前と工事完了後に2回の書類の提出が必要です。詳しくは、ホームページをご覧ください。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人2590人・事業所99力所（6月末現在）

▼環境政策課

☎23局7401 FAX23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

環境戦隊たはらエコレンジャー
環境けいじばん 24
ゴミゴモンとリサイクルレンジャー

ごみの減量化・資源化の一環として、7月15日から電気生ごみ処理機を貸し出しています。今回は、貸出方法についてご紹介します。

家庭から出る生ごみの減量を推進するため、購入前に生ごみ処理機の効果などを体験したい方に無料で貸出しています。処理機の購入時には補助金制度がありますのでご利用ください。

機種	台数	外形寸法	本体質量	最大処理量
2~4人家庭用	3台	幅268mm×奥行365mm×高470mm	約11kg	1回約1.0kgまで
2~6人家庭用	2台	幅268mm×奥行365mm×高550mm	約12kg	1回約2.0kgまで

◆期間

最大4週間（1世帯1台限り）

◆条件

●市内に在住で、屋内に処理機の設置場所があること。

●処理機の受け取りおよび返却が自分で行うこと。

●処理機の電気代を負担すること。

●貸出期間終了後、アンケート調査にご協力いただけること。

◆手順

●予約受付

事前に清掃管理課へ電話し、予約をしてください。

●申し込みおよび貸し出し

貸出開始日に、印鑑と身分証明書（運転免許証・健康保険証など）を持参のうえ、清掃管理課へお越しください。処理機を渡しますので、持ち帰る用意をしてきてください。

●返却

清掃したうえで、貸出期限内に清掃管理課へ返却してください。

▼清掃管理課

☎23局3538 FAX23局0180

友好都市 プリンストン市およびギブソン郡

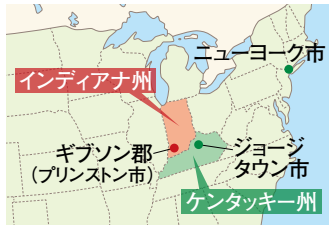
田原市の友好都市であるアメリカのプリンストン市・ギブソン郡について紹介します。



●プリンストン市・ギブソン郡はこんなところ

アメリカ北東部にあるインディアナ州の南部に位置します。インディアナ州は、姉妹都市のジョージタウン市があるケンタッキー州の隣にあります。

プリンストン市は人口約9,000人の小さな町で、約3万2,000人の人口を持つギブソン郡の郡庁所在地です。郡内のほとんどが農地で、主な作物は、小麦や大豆、とうもろこしです。



●友好都市提携のきっかけ

トヨタ自動車田原工場が、プリンストン市内にできたインディアナ工場の親工場となり、関係者の往来が盛んだった

たことをきっかけに、プリンストン市およびギブソン郡とで構成された「友好都市委員会」から交流を申し込まれ、平成14年8月8日に友好都市提携を結びました。

●深まる相互交流

6月7日(土)から11日(水)にかけて、アメリカ・ギブソン郡からの訪問団8人が田原市を訪問しました。一行は、田原市長を表敬訪問したほか、小学校の英語活動見学、トヨタ自動車田原工場や市内の視察を行いました。

ギブソン郡とは、中学生海外交流(派遣・受入)のほか、行政関係者の相互派遣、市民訪問団の派遣などを通じて、交流を深めています。



●英語活動見学(伊良湖小)

みんなで取り組む防災・減災



防災知恵袋

4



水位・雨量監視システムについて

こんにちは、しろちゃんです。
7月も雨の多い時期というこ

とで、今回は田原市水位・雨量監視システムについてご紹介します。

▼水位・雨量監視システムとは

台風や高潮などによる被害を最小限に抑えるため、市内の3つの河川に設置された観測機器から送られる情報を即時に提供しています。平常時には、1時間単位で水位・雨量の情報を表示しますが、水位が一定の数値を超えた時や、雨量を観測した時には10分ごとに表示します。

▼設置場所

新堀川(新堀橋)、免々田川(常堰橋)、天白川(天白橋)の3カ所。

▼市のホームページから見る場合

●田原市ホームページにアクセス

●【救急災害】メニューの【田原市水位・雨量監視システム】にアクセス

●地図上で、見たいデータを選択する

▼携帯電話から見る場合

●新堀川、免々田川、天白川
左記アドレスを直接入力。

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/mp/5/kinyu/sui/>

または、QRコードを読み取ると閲覧できます。

●汐川

このQRコードを読み取ると閲覧できます。



※汐川の情報は、県の河川課より提供



▼情報の活用

災害が起きていなくても一度アクセスしてみましょう。そして、台風の接近やゲリラ豪雨など、情報が必要となった場合にはぜひご活用ください。

▼防災対策課 ☎23局3548

おしらせ				
		INFORMATION		

AWARDS

表彰

愛知県青少年育成県民会議 青少年団体等表彰

青少年健全育成推進員および青少年問題協議会委員の彦坂伸明さん（江比間町）が、永年にわたり学校や警察と連携して青少年の非行防止に貢献されたことなどが評価され、青少年育成者として表彰されました。

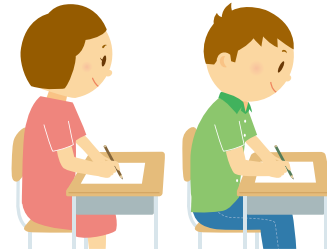


募集

WANTED

定時制・通信制高校合同説明会

▼対象＝関心のある方（保護者・本人・支援者および中学・高校関係者、不登校や中途退学で次の進路先として悩んでいる高校生およびその保護者、進路先で悩んでいる中学生およびその保護者など）
▼日時＝8月9日（土）午後1時30分～4時
▼会場＝ライブポルト豊橋
▼参加高校＝豊橋市・田原市・岡崎市・浜松市にある定時制・通信制高校20校程度
▼内容＝定時制高校・通信制高校概要説明、個別ブースによる相談
▼その他＝事前申込不要／無料



▼豊橋市教育委員会生涯学習課
☎（0532）51局2855

FAX（0532）56局1705

☒ shogaigakushu@city.toyohashi.lg.jp

生活

LIFE

愛知海区漁業調整委員会委員 選挙人名簿の登載申請

選挙管理委員会では、愛知海区漁業調整委員会委員選挙人名簿を9月1日現在で調製します。漁業に従事している選挙権のある方は、必ず申請をしてください。

◆選挙権のある方

年に90日以上漁業を営んでいる方（法人を含む）、海区漁業調整委員会委員または漁業協同組合・漁業協同組合連合会の役員（委員・役員に就任する際、選挙権のあった方）で、平成26年12月5日現在、満20歳以上の方

◆申請書の配布

世帯ごとの申請書を、8月中旬までにご自宅に郵送します。選挙権があるにも関わらず、申請書が届かない場合は、お手数ですがご連絡ください。市内の各漁業組合にも申請書があります。

◆申請書の提出

9月3日（水）までに、申請書に同封の返信用封筒にて選挙管理委員会

まで提出してください。

▼選挙管理委員会（総務課内）
☎23局3506 FAX22局0180

夏の安全なまちづくり県民運動 8月1日（金）～10日（日）

愛知県安全なまちづくり推進協議会では、夏の安全なまちづくり県民運動において、次の4項目を重点とした運動に取り組み、犯罪の抑止を図ってまいります。

- 重点実施項目
- 住宅を対象とした侵入盗の防止
- 子どもと女性が被害者となりやすい犯罪の防止
- 自動車関連窃盗の防止
- 振り込め詐欺の被害防止

8月は、夏休みや長期休暇で開放的な気分になりがちですが、身の回りに潜む危険を忘れてはいけません。皆さん一人ひとりが防犯意識を高めながら、地域ぐるみで町を見守り、安心して暮らせるまちづくりをめざしましょう。



▼市民協働課
☎23局3504 FAX23局0180

青少年の非行・被害防止に 取り組む夏の運動

非行の芽 はやめにつもう
みな我が子

夏休みを迎えるにあたって、青少年が有害環境などに接する機会の増加が予想されます。地域、家庭、学校が一体となって青少年の健全な育成を図りましょう。

- ▼期間 8月31日(日)まで
- ▼実施内容 ①パトロール活動の推進 ②広報・啓発活動 ③インターネットの適切な利用に関する啓発活動の推進
- ▼文化生涯学習課

☎ 23局 3635 FAX 22局 3811

堆肥散布による悪臭などの 発生防止にご協力を

堆肥を散布すると、近隣の住宅や観光施設などから悪臭やハエなどの苦情が寄せられることがあります。

次の点に注意して、生活環境の保全と水質汚濁などの防止にご協力をお願いします。

- 十分発酵させ悪臭を伴わない完熟堆肥を使用しましょう。
- 農地に搬入した堆肥は、すぐに鋤き込みましょう。搬入後、雨天により鋤き込みできないことのない

よう、天候に注意しましょう。

● 住居や観光施設に近い農地に施肥する場合は、生活環境に十分配慮し、悪臭、粉じん、ハエなどの害虫や汚水が発生しないようにしましょう。

● 地下水汚染の原因にもなる、過剰な堆肥投入はやめましょう。

▼農政課

☎ 23局 3517 FAX 22局 3817

▼環境政策課

☎ 23局 3541 FAX 23局 0180

三河湾浄化週間 7月23日水～29日火

**家族みんなでできる生活排水への
ちよつとした心づかい**



三河湾の汚れの原因の半分以上は家庭からの炊事・洗濯などの生活排水によるものです。河川や三河湾の水質保全には、各家庭で、食べ物の残りなどは流さないよう水切りネットを使用することや、廃食油は流さず、資源として持ち込むか、紙に吸わせて、固めたりして燃やすごみとして出すことなど、毎日の暮らしの中で努める必要があります。

三河湾流域の市町村などで構成する三河湾浄化推進協議会では、海に親しむ機会が多い毎年7月の第4水曜日

を三河湾浄化の日、その日から一週間を三河湾浄化週間と定め、生活排水対策の呼びかけなどの活動を行っています。※三河湾浄化推進協議会については、ホームページ(<http://www.nikawawanjouka.jp/>)をご覧ください。

▼環境政策課

☎ 23局 3541 FAX 23局 0180

認知症介護者交流会 認知症介護相談

☑ 認知症介護者交流会

認知症介護でお困りの方が、何でも話し合える場所です。

- ▼対象 認知症の方を介護している方
- ▼日時 8月2日、9月6日、10月4日、11月1日、12月6日、1月10日、平成27年2月7日、3月7日(すべて土曜) / 午後1時30分～4時
- ▼場所 豊橋商工会議所
- ▼参加費 1人500円

☑ 認知症介護相談

お気軽にお電話ください。専門のスタッフが応えます。

相談専用 ☎ (0562) 31局 1911

▼日時 平日(月曜日～金曜日) 午

前10時～午後4時

▼公益社団法人認知症の人と家族の会 愛知県支部

☎ (0562) 33局 7048

水道・排水設備指定工事店の 新規追加

給水工事は、田原市指定給水装置工事店へ、公共下水道などに接続する場合は、田原市排水設備指定工事店へ必ずお申し込みください。

☑ 新規追加

● AK設備(豊橋市天伯町)

☎ (0532) 37局 5598

▼水道課

☎ 23局 3532 FAX 22局 3184

▼下水道課

☎ 23局 3525 FAX 22局 3184

第7回男女共同参画フェスティバル (映画上映)

日時=8月24日(日) 13:30開演(13:00開場)

場所=田原文化会館文化ホール

主催=田原市男女共同参画推進懇話会

上映作品=「そして父になる」

(出演:福山雅治、尾野真千子ほか)

入場料=無料 ※入場整理券が必要

入場整理券=7月23日(火)から配布開始

配布場所=市民協働課・渥美支所(平日のみ)、田原文化会館・赤羽根文化会館(月曜休館)、渥美文化会館(土・日・祝日のみ)

問い合わせ=市民協働課 ☎ 23局 3504

歴史探訪

クラブ!

其の160

History Inquiry Club



文化生涯学習課 ☎ 23局3635
FAX 22局3811

航空写真から見る三河田原駅 はじめの一歩

平成25年10月、三河田原駅が移転オープンした際に、駅舎内に三河田原駅や渥美線の写真をパネル展示しました。その中にある昭和2年(1927)撮影の航空写真についてご紹介します。

この航空写真は陸軍航空隊のパイロットだった高畑米一(1905-1930/現在の豊橋市杉山町出身)によって撮影されました。我々が知る限りでは、田原を写した航空写真として、最も古い時期のものです。その



▲三河田原駅と田原のまちなかの航空写真(昭和2年夏)

後、この写真を銅版に焼き付けたものが田原中部小学校の講堂に飾られたほか、地元の写真館が絵はがきにして売り出すなどして流布しました。

写真を見ると、ほとんど全ての家が平屋か二階建てで時代を感じます。また、駅の北側には空き地が目立ちます。駅はこのとき開業からまだ3年。しかも田原の中心部から離れた水田の中に建てられたので、駅前の開発のために埋め立て工事や道路の造成が行われました。写真撮影後、少したつと旅館・飲食店や貨物の倉庫などが駅前に打ちそろういます。(昭和59年まで渥美線は貨物輸送も行っていました)



▲竣工間近の駅前通り線と新三河田原駅の航空写真(H25.10.21)

この後、三河田原駅は渥美半島の玄関口としての役割を果たしつつ現在に至りますが、平成25年の市道・田原駅前通り線の開通と駅の移転オープンによって、長く続いてきた景観が一変しました。三河田原駅のすぐ近くに住んできた私自身、本当に驚くばかりです。

街は刻々と変化し、古いものは新しいものに置き換わっていきます。これはある程度は仕方のないことです。それでも、過去の田原の人々がどう生きてきたか、資料やせめて痕跡なりとも残していければと日々考えています。

(木村)

【写真募集】

田原市博物館では、企画展「渥美線―渥美半島と外界を結ぶ鉄路の物語」(12月6日～平成27年2月1日)を開催します。そこで、今昔の渥美線に関する写真を探しています。

- ・三河田原駅やその周辺(例：駅前にあった映画館「東英館」)
- ・貨物などを積み込み、積み下ろししている光景
- ・廃線した区間(三河田原～黒川原)
- ・鉄道工事が着工したものの中止になった区間(黒川原～福江～堀切)。特に昭和45年以前の線路予定地 など

こうした写真をお持ちの方は田原市博物館(☎22局1720)へご連絡ください。

今月の「表紙」

▼田原福祉専門学校の周りには木陰があり、授業終わりの学生さんたちがおしゃべりしたり、本を読んだり、思い思いに過ごすことができます。そこでされるたわいもない会話は、友情を育み、将来かけがえのない思い出の1ページになるでしょう。彼らの青春の1ページに田原市の風景が残ることを願って。(O)

【表紙の写真】田原福祉専門学校